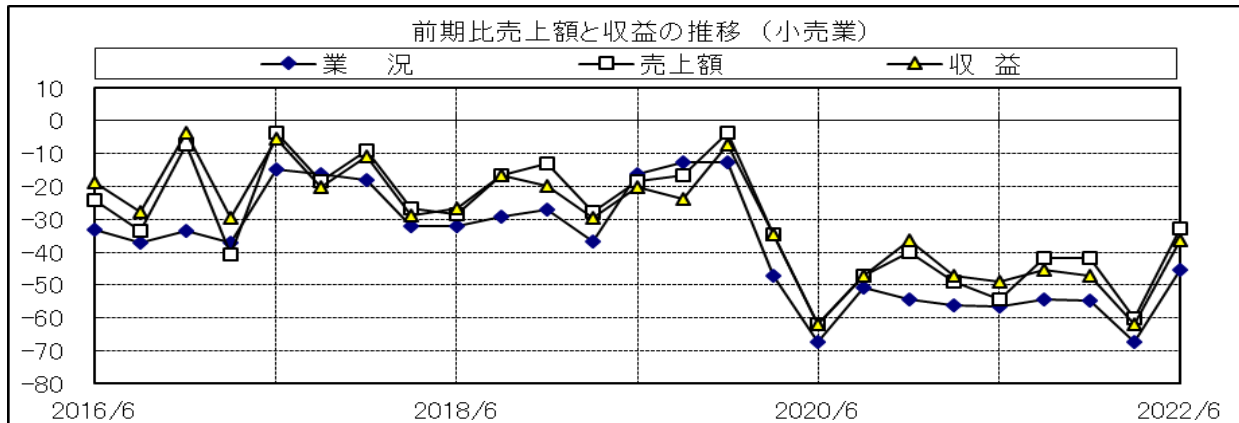


# 小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

## □ 景況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業況	-54.6	-67.3	-45.4	-41.9
売上額	-41.9	-60.0	-32.7	-29.1
収益	-47.3	-61.8	-36.4	-38.2

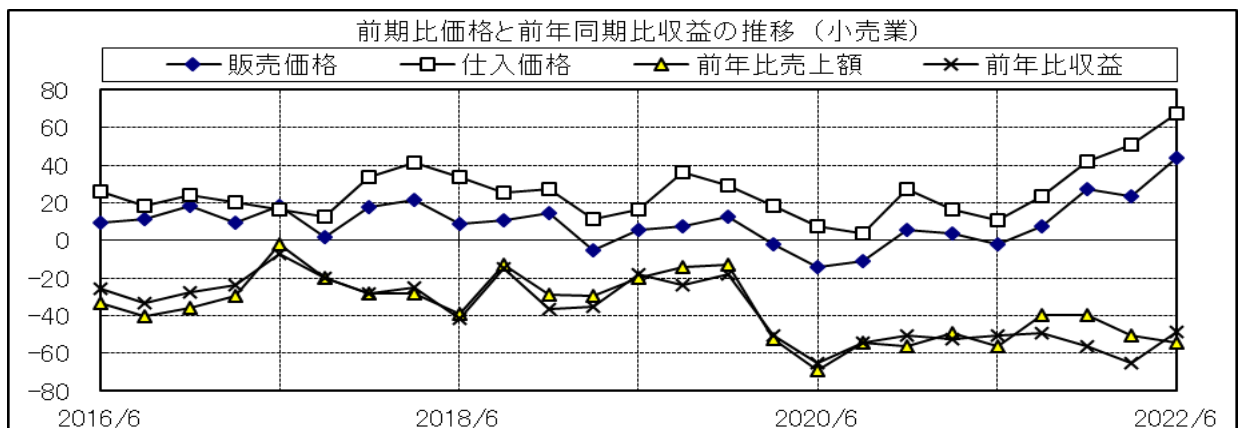
今期の業況判断 D. I. は△45.4 で、前期比 21.9 ポイント上昇した。前年(△56.4)比 11.0 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、三石が最も高く、次に、静内、様似、浦河、えりもと続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△32.7 で、前期比 27.3 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△36.4 で、前期比 25.4 ポイント上昇した。



## □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	27.3	23.7	43.7	46.3
仕入価格	41.7	51.0	67.3	63.6

販売価格判断 D. I. は 43.7 で、前期比 20.0 ポイント上昇し、前年(△1.8)比 45.5 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 67.3 で前期比 16.3 ポイント上昇し、前年(10.9)比 56.4 ポイント上昇した。業種別の販売価格は、衣料は横這い、食品・家電は上昇した。仕入価格は、衣料、食料は上昇し、家電は横這いとなっ



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-5.6	-16.4	-9.1	-1.9
人手状況	-23.6	-16.4	-16.4	-20.0

残業時間判断 D. I. は△9.1 で、前期比 7.3 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△16.4 で、前期と同水準、人手不足感に変化はなかった。

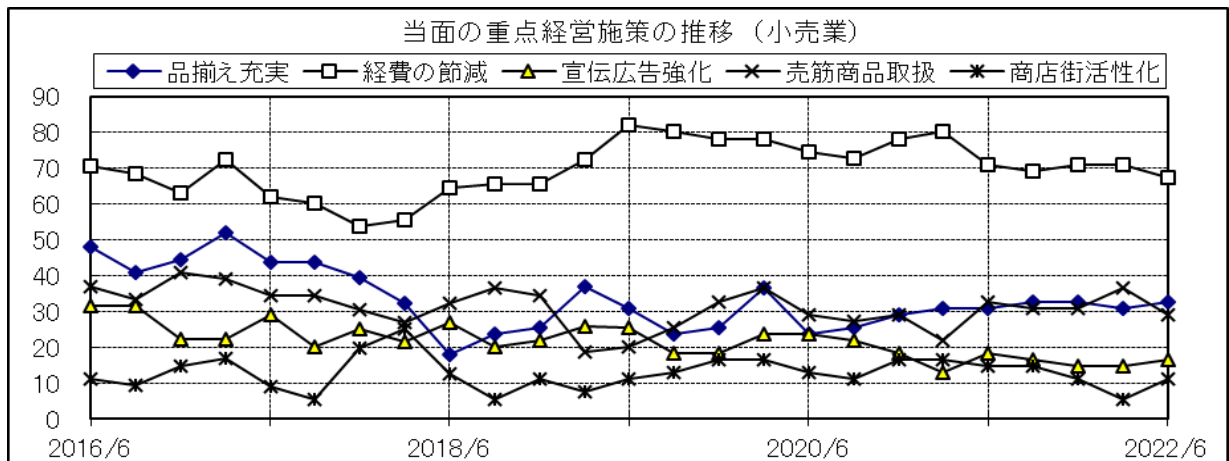
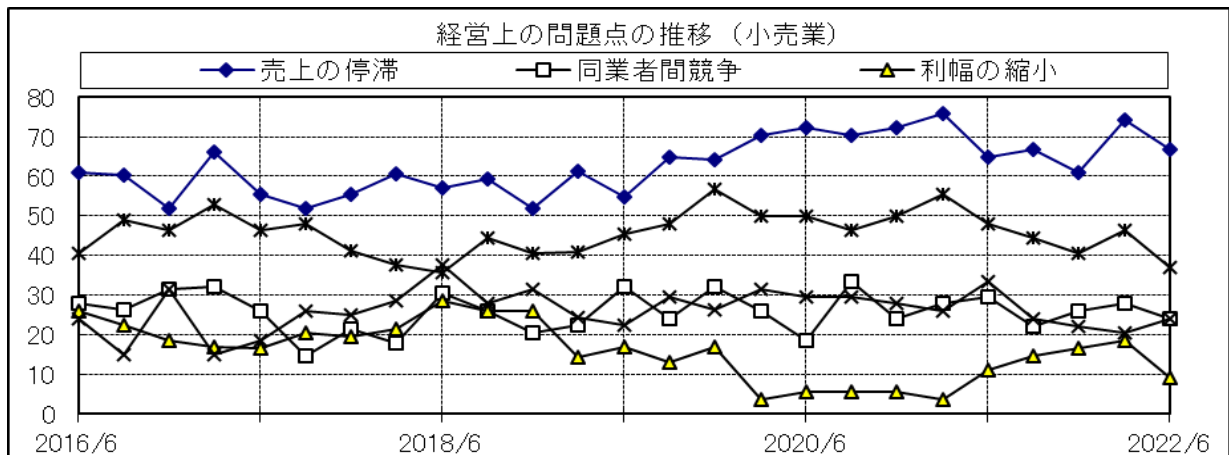
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 10.9$ で、前期( $\Delta 16.4$ )比5.5ポイント上昇した。設備実施企業割合は9.1で、前期(14.5)比5.4ポイント下降した。設備投資は、前期8社に対し5社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が66.7%と最も多く、次に「商圈人口減少」37.0%、「値上げ要請」27.8%、「同業者競合」・「大型店競合」が24.1%、「取引先減少」18.5%、「人手不足」13.0%、「商店街集客力低下」11.1%、「利幅縮小」9.3%、「諸経費増加」7.4%、「販売商品不足」・「人件費増加」が3.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が67.3%と最も多く、次に「品揃え改善」32.7%、「売れ筋商品取扱い」29.1%、「宣伝広告強化」16.4%、「仕入先開拓選別」14.5%、「商店街活性化」10.9%、「人材確保」9.1%、「教育訓練強化」5.5%となった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 41.9$ と、今期比3.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 29.1$ と、今期比3.6ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 38.2$ と、今期比1.8ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は46.3と、今期比2.6ポイントの上昇を見通している。

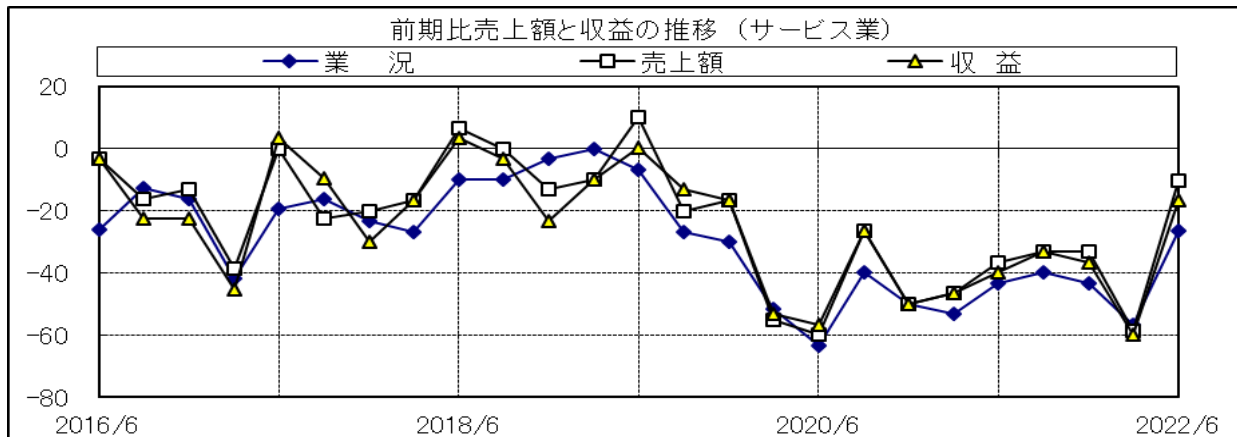
予想仕入価格判断D. I. は63.6と、今期比3.7ポイントの下降を見通している。

## サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-43.4	-56.7	-26.6	-43.4
売上額	-33.3	-58.7	-10.4	-43.4
収 益	-36.7	-60.0	-16.6	-56.7

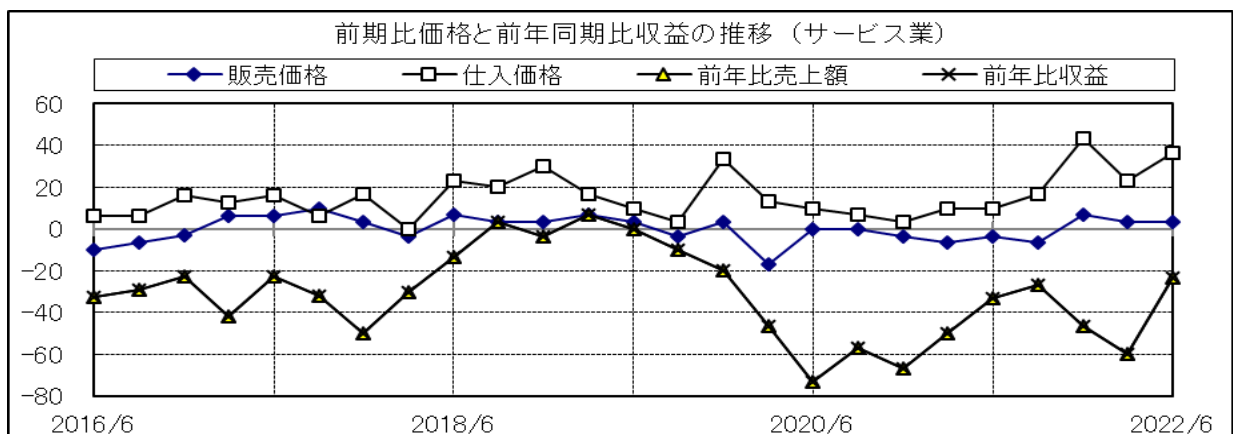
今期の業況判断 D. I. は△26.6 で、前期比 30.1 ポイント上昇、前年(△43.4)比 16.8 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に様似、三石・えりもが同率で続き、浦河・広尾が同率で最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△10.4 で、前期比 48.3 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△16.6 で、前期比 43.4 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
料金価格	6.7	3.3	3.3	10.0
材料価格	43.3	23.4	36.7	26.6

料金価格判断 D. I. は 3.3 で前期と同水準となり、前年(△3.3)比 6.6 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 36.7 で、前期比 13.3 ポイント上昇した。前年(10.0)比 26.7 ポイント上昇した。業種別の料金価格は、旅館業、洗濯美容業、自動車整備業は横這い、材料価格は、旅館業が下降し、他は上昇している。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-10.0	-20.7	-13.3	-10.0
人手状況	-40.0	-23.3	-20.0	-16.6

残業時間判断 D. I. は△13.3 で、前期比 7.4 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△20.0 で、前期比 3.3 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

## □ 設備投資の動き

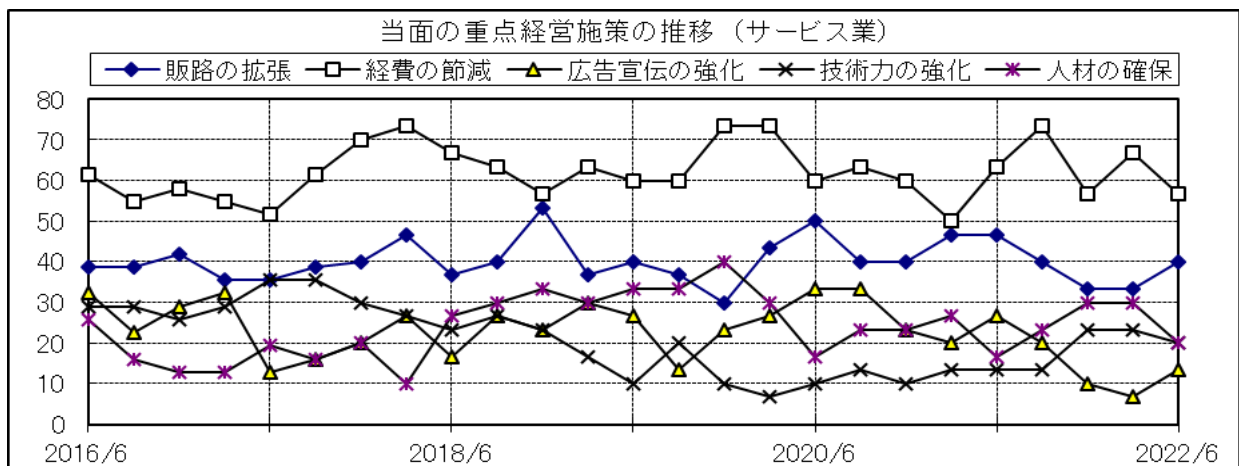
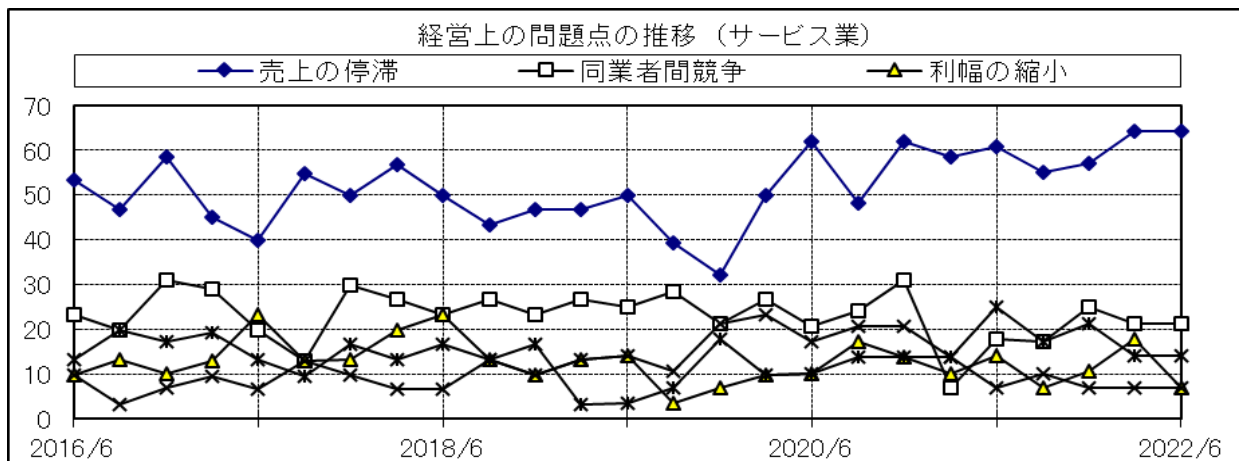
設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 3.3$ で、前期( $\Delta 10.0$ )比6.7ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は10.0で、前期(6.7)比3.3ポイント上昇した。設備投資は、前期2社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、1社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が64.3%と最も多く、次に「材料価格上昇」32.1%、「商圏人口減少」28.6%、「同業者競争」21.4%、「人手不足」17.9%、「取引先減少」・「地場産業衰退」が14.3%、「大手企業競争」・「利幅縮小」・「値下げ要請」・「人件費増加」・「店舗設備老朽化」が7.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が56.7%と最も多く、次に「販路拡大」40.0%、「技術力強化」・「人材確保」20.0%、「宣伝広告強化」13.3%、「連携先確保」10.0%、「店舗設備改善」・「労働条件改善」が6.7%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 43.4$ と、今期比16.8ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 43.4$ と、今期比33.0ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 56.7$ と、今期比40.1ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は10.0と、今期比6.7ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断D.I.は26.6と、今期比10.1ポイントの下降を見通している。